

関西福祉科学大学

総合型選抜（A0） 対策講座

相手に自分の考えが伝わる
レポートを仕上げよう！

【レポート試験】



1. レポートの書き方

▶ レポートと感想文の違い

	レポート	感想文
目的	普遍性のある事実にもとづく主張	個人的な体験にもとづく主張
論点の展開	序論・本論・結論	起承転結
書き方	問題や課題に対して、客観的な根拠や事実をもとに論じる	客観的な根拠の有無に関係なく自分の思ったこと、感じたことを自由に書く

- ▶ 序論・本論・結論とは？
- ▶ 客観的な根拠や事実とは？

1. レポートの書き方

▶ 序論とは

テーマに関する**現状（問題）**や**重要性を取り上げる** → **背景と意義**

今回のレポートで、**何について述べるのか**を考える → **目的**

- ▶ テーマの内容によっては、序論を省略する場合もある

▶ 本論とは

根拠（証拠や事実）を挙げて、述べる内容を**広げたり深めたり**する。

- ▶ 伝えたいことに対して、**原則**、思いつきのように主観的な内容を添えないようにする（⇒**客観性とは<後述参照>**）。
- ▶ 答えをまず書いてから、**根拠**を添える。

1. レポートの書き方

▶ 結論とは

本論で明らかにした**成果**を用いて、**序論**で示した**目的**に対する答えをまとめる。

▶ 本論で述べられていないことは、書かないようにする

▶ 各新聞のコラム（著者個人の主張）や社説（新聞社の主張）を読んでみよう！

コラムの例) 朝日新聞：天声人語 読売新聞：編集手帳
毎日新聞：余録 産経新聞：産経抄 など

▶ 著者は何を伝えようとしているのか？

▶ 伝えたいことをどのようにして証明しているか？

1. レポートの書き方

▶ 客観性とは

特定の立場にとらわれず、物事を見たり考えたりする状況を指す。

⇔主観的：自分のものの見方・考え方による状況

▶ 客観的な証拠や事実とは

▶ 文献等、著者による**見解**（意見や考え）

▶ 各種資料や調査報告書による**データ**や内容
例）白書、各市町村の各種計画 など

▶ 世間で広く認識されている**事実**や**現象** 例）少子高齢社会 など

▶ （レポートテーマで指示された場合）自らの**体験**

2. 文章の基本的な書き方

- ① **文頭**は、1マスあける
- ② **文末**は、「～である」調で、原則、統一する「～です・ます」は×
「～のである」は避ける 例) ～を調べる~~のである~~
- ③ **主語**と**述語**を対応させる
- ④ 一文が長くならないようにする（**1センテンス1ミーニング**の原則）
接続詞を有効に活用する（「しかし」「そして」「そのため」など）
- ⑤ 一段落で一つの話題を述べる（**1パラグラフ1トピック**の原則）
- ⑥ **話し言葉**を用いないようにする 例) 「なので」「けど」は×
- ⑦ **誤字・脱字**がないように気をつける
- ⑧ 字を**丁寧**に書くように**努める**
- ⑨ 字の**大きさ**にも配慮する
- ⑩ **誇張表現**や**主観的表現**は用いない。例) 「!」「?」「すごい」は×

3. 総合型選抜（AO）レポート試験の概要

- ▶ レポート試験の概要
 - ▶ 字数は700～800字
 - ▶ 試験時間は80分
 - ▶ 700字を必ず超えるようにする
 - ▶ レポート全体の構想（流れ）を考えてから書き始める
 - ▶ レポートテーマの趣旨（求められていること）を理解する
- ▶ アドミッション・ポリシーを理解しよう！
 - ▶ 本学の各学部・各学科（専攻）で求める学生像を確認する
 - ▶ 求める学生像から見えてくるキーワードは？
 - ▶ そのキーワードへの自分の思いや考えとは？

特典 各学科のレポート試験 評価ポイント

学科名	評価ポイント
社会福祉学科	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成ができており、他者が読んでわかりやすい内容であるか。 考えや意見が、どれだけ豊かな発想で展開し、独創的に述べられているか。
心理科学科	<ul style="list-style-type: none"> 論理的な展開で解答をしている。 誤字脱字などが無い。 適切な日本語表現である。 文書の構成が適切である。
健康科学科	<ul style="list-style-type: none"> 文章は明確でわかりやすく書けているか。 論理的に文章を構成できているか。 単に感想や事実の記載ではなく自分の考えや意見を説明できているか。 健康支援の専門家を目指すために必要な人間性が理解できているか。
福祉栄養学科	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの要望を汲み、適性を考えた良い提案ができる管理栄養士になるために、どうすればよいか検討できているか。 専門家として活躍するために、どのような人間性が必要か、理解できているか。 自分の考えを論理的かつ具体的に述べることができているか。
リハビリテーション学科	<ul style="list-style-type: none"> 医療現場、医療専門職、リハビリの職務内容と概要についての理解が妥当か。 リハビリテーションに関わる医療専門職に必要な人間性が理解できているか。 自分の考えが論理的かつ明確に述べられているか。
教育学科	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを明確に述べているか。 自分の考えを述べるにあたって、そこに至る道筋が論理的に展開されているか。 他者が読んでよく分かる文章になっているか。 教育についての関心や学ぶ意欲が表現できているか。

4. まとめ①

- ▶ 何を伝えたいのかがよくわかるような書き方を**意識しよう!**
 - ▶ 序論と結論を読んだだけで何を伝えたいのかがよくわかるような書き方にする

- ▶ 過去のレポートテーマを参考に、書く練習を**積み重ねてみよう!**
 - ▶ 高校の先生の指導を受けながら、書く練習を重ねる
 - ▶ 本学の入学試験問題を希望される場合には、本学入試広報部（072-978-0676）までお問い合わせください。



4. まとめ②

▶ テーマ「ボランティア活動が活性化するために必要なことを論じなさい」

わが国では、都市部を中心に、住民間のつながりが弱くなってきているといわれている。一方で、防犯や防災活動において、地域に期待されているものは大きく、住民によるボランティア活動が求められている。したがって、ボランティア活動の活性化に向けて必要なことは何かについて論じる。**(序論)**

ボランティア活動が活性化するために必要なことは、気軽に参加できるボランティア活動の提案とその情報を手軽に入手できる手段の開発である。

内閣府の調査（2019年）によると、参加の妨げとなる要因として、「参加する時間がない」「ボランティア活動に関する十分な情報がない」「参加するための休暇が取りにくい」の回答が多かった。このように、ボランティア活動の活性化には、時間の制約と情報不足への解消が必要である。**(本論)**

以上のことから、ボランティア活動が活性化するために必要なことは、気軽さと手軽さを意識したボランティア活動の実現である。**(結論)**



関西福祉科学大学

入試に関するお問い合わせ
072-978-0676(入試広報部直通)

